

## 研究短信

### ひとの動き

〔現地滞在者〕

- ◇ インドネシア・ボゴール植物園に、留学期間を1カ月延長した**山田 勇氏**（京大農学部大学院）が滞在。
- ◇ インドネシア・ガジャマダ大学文学部において**土屋健治氏**（東大教養部大学院）は、中部ジャワを中心とする独立前の民族運動を研究中。
- ◇ **海田能宏**助手（東南ア研）はひき続きタイ国のかんがい排水に関する研究調査とセンター・バンコク連絡事務所長代理として滞在。
- ◇ **伊藤邦幸氏**は熱帯病学に関する研究のため Calcutta School of Tropical Medicine に向け10月15日出発。
- ◇ **堀内孝次氏**（京大農学部大学院）は熱帯における水稲の生理生態的研究を、主にマレーシア・ケダー州の農事試験場において行なうため11月11日出発。
- ◇ **金山清一氏**（京大工学部大学院）はインドネシア・バンドン工科大学において第三紀火成活動に伴う鉱床の研究のため12月19日出発。
- ◇ シカゴ大学において文化人類学の理論と方法論の研究を行なうため、**前田成文**助手（東南ア研）は12月25日出発。

〔センター来訪者〕

- ◇ タイ国チュラロンコン大学政治学部付属のアジア研究所 (Asian Institute) 所長 **Somsakdi Xuto** 教授は10月8日センターを訪れ、同研究所とセンターとの研究協力につき協議すると共に、“Regional Cooperation in Southeast Asia” と題する講演を行なった。
- ◇ インドネシア大学文化人類学主任教授 **Koentjaraningrat** 氏は10月28日より31日まで京都に滞在し、センターのスタッフとインドネシア研究について話し合った。

- ◇ シカゴ大学人類学教授 **Manning Nash** 氏は11月4日センターを訪れ、センターの研究計画に関する情報を集めた。
- ◇ オーストラリア Monash 大学の地理学者 **B. L. C. Johnson** 教授は同大学東南アジア研究センターと当センターとの研究交流と資料交換の可能性の打診に訪れた。
- ◇ Scandinavian Institute of Asian Studies の言語学者 **Søren Egerod** 博士は、11月7日センターを訪れ、同研究所とセンターとの研究協力について協議した。
- ◇ 先年 Visiting Professor としてセンターに滞在した UCLA の **David A. Wilson** 教授は、11月20日センターを訪れ、UCLA のタイ研究の紹介を中心として、米国における地域研究の現状と問題点につき講演した。
- ◇ 元メルボルン大学教授で現在慶応大学に客員教授として滞在中の **W. A. Stargardt** 教授は、11月25日センターにおいて “Development and Diplomacy” と題する講演を行なった。
- ◇ 12月1日、タイ国 National Research Council の **Praphaphitt Donavanik** 女史がセンターを訪れ、センターのタイ国における研究遂行に関し協議した。
- ◇ マサチューセッツ大学の **Joel M. Halpern** 教授は12月4日センターにおいてラオスの将来についての講演を行なった。

### センター定例研究会

#### I 地域研究の部

1. 東南アジア大陸部 隔週木曜日10時～12時
2. 東南アジア島嶼部 隔週木曜日10時～12時

#### II 分野別研究の部

1. 文化・社会セミナー 毎週火曜日1時30分～3時30分
2. 経済セミナー 毎週木曜日1時～3時
3. 歴史セミナー 毎週木曜日3時30分～5時30分

### Ⅲ 総合研究の部

1. センター研究例会 木曜日（不定期）6時～8時
2. 東南アジア・セミナー（助手会主催）  
毎週火曜日10時～12時

使用テキスト（12月27日現在）

1. 文化・社会セミナー：K. A. Wittfogel. *Oriental Despotism*, 1957.  
（リポーター：飯島 茂助教授）
2. 経済セミナー：G. Myrdal. *Asian Drama*, 1968.
3. 歴史セミナー：G. Coèdes. *Les états hindouisés d'Indochine et d'Indonésie*, 1964.  
英訳 *The Indianized States of Southeast Asia*, 1968.  
（リポーター：石井米雄教授）

### 地域セミナー記事

- 10月2日 福井捷朗「東南アジアの稲作における技術的問題一般」  
10月9日 Dr. Somsakdi Xuto “Regional Cooperation in Southeast Asia”  
10月23日 野口英雄「中部ジャバの集落と都市」  
10月23日 友杉 孝「チャオプラヤ・デルタの土地制度——タイ地域研究の基礎視角」  
10月28日 小林一三「マラヤの経済発展と経済的ナショナリズム」

10月30日 Prof. Koentjaraningrat “Current Situation of Social Studies in Indonesia”

11月4日 石井米雄「小乗仏教の構造」

11月13日 辻井 博「タイの経済発展について」

11月20日 Prof. David A. Wilson 「最近のUCLA におけるタイ研究」

11月25日 Prof. W. A. Stargardt “Development and Diplomacy”

11月27日 久馬一剛 “Paddy Soils in Tropical Asia”

12月4日 Prof. Joel M. Halpern 「Peasant Society の諸問題——特にラオスを中心として」

12月10日 水野浩一「文化的主題と格言——東北タイ」

12月23日 石井米雄著『戒律の救い』学評会

### 研究例会記事

- 10月9日 東中秀雄「インドネシアから帰って」  
10月30日 口羽益生「暴動後のマレーシアの情勢とアロール・ジャングス」

### 東南アジア・セミナー(助手会主催)記事

- 10月7日 三谷 恭之 “General Structure of Grammar”  
10月21日 坪内良博「婚姻の安定性について」